

## 遊具付公園の建設計画について / 伊禮敬子

前職の上原悠作議員、そして去る 6 月定例会では上地議員から質疑を行っておりますけれども、今回は引き続き私から質問させていただいておりますので、よろしくお願いします。

まずはじめに、建設検討委員会の設置について現状を伺いたいと思います。

■議長（金城信光） 答弁、建設課長。

■国吉善希建設課長 伊禮敬子議員のご質問にお答えいたします。建設検討委員会の設置について現状の報告をいたします。公園の整備イメージ及び設計、検討を行うために必要な見積もり依頼を現在行っているところであります。整備としましては、前回のアンケート等の結果により中央での整備の回答が多かったことから、決定ではございませんが、役場の裏手にあるとらず公園を想定して、ウォーキングロードや健康遊具、幼児遊具と暑さ対策等の東屋などの休憩施設、トイレの衛生施設、駐車場の整備を想定したイメージ図の作成を、現在、見積もり依頼と一緒にしているところです。

前回、6 月の定例会でも申し上げたとおり、このイメージ図が作成でき次第、関係各課と連携して検討を図っていきたいと考えております。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3 番 伊禮敬子議員 ありがとうございます。今、検討委員会はまだ設置されていないという事でよろしかったでしょうか。

昨年の 3 月定例会での建設課の答弁で、「建設検討委員会の設置を行い、それから計画を進めていく」とありました。12 月の定例会においても、公園建設に向けてアンケート調査結果報告があり、公園は中央に建設、今、伺ったところですが、とらず公園になったんです

ね。その結果報告があつて、建設検討委員会の設置は遅れていますけど、1月に第1回、第2回の建設検討委員会を開いて、委員の委嘱状の交付ということがありました。3月には第2回の検討委員会を開き、遊具の選定まで実施するということでした。6月定例会においては、会議と検討委員会の選定もまだ実施されていないとの報告があり、担当部署で公園をイメージした案を作成したうえで、それから検討委員会を開くと今おっしゃってございましたけれども、今はその全体的なイメージは図れて、それが今進行しているという状況なんですね。

■議長（金城信光） 答弁、国吉建設課長。

■国吉善希建設課長 伊禮議員のご質問にお答えします。現在、先ほども申し上げたとおり、検討するためのイメージ図の作成も依頼している最中でございます。それができ次第、関係各課とも連携を図りながら検討会を行っていきたいと考えているところです。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 この案件はもう3年経過している状況なんですね。先ほどから皆さんのご意見も伺うと、たぶん予算の確保もかなり厳しいかなと思われるんですけども、一日も早く進めていただきたいという思いでいます。

これはまた教育の現場の見解も含めて、遊具付公園の見解を保育所長、教育長の意見もいただければと思いますが、よろしくお願いします。

■議長（金城信光） 答弁、教育課長。

■新垣恵教育課長 3番 伊禮敬子議員の質問に対して答弁いたします。2番目の、先ほどおっしゃられた、教育現場の課題を含めた見解ということですので、教育現場で言いますと、沖縄県内の公立学校と、全国的にも多くの学校でこれまで設置されていた遊具が撤去されまし

た。特にブランコやシーソーといった遊具は年々減少傾向にあります。一方で、鉄棒や運ていなど、体育の授業で利用する遊具の設置率はまだ比較的高いままというのが現状です。

これは管理体制の面が大きく影響していると考えられまして、老朽化による事故防止、安全基準の厳格化、修繕及び管理費用の高さ、多さですね、そして事故発生時の訴訟リスクなどが課題として挙げられております。

遊具の設置を求める声に応えるためには、安全性と利用者ニーズの両方を考慮した多角的な対応が求められると考えております。まず、遊具の安全点検を定期的を実施し、老朽化や破損がないかを確認する必要、県や国の安全指針などを参考に、安全基準に適合した遊具を選定する必要、遊具を設置するうえでリスクを関係者全員に明確に伝える必要、利用ルールと指導体制の構築並びに児童生徒の安全意識を高めるような取り組みも重要だと考えております。

また、多様なニーズへの対応としましては、年齢や発達段階に適した遊具を検討する必要があり、遊具が設置できなかった場合の代替案としても、遊具が無くても体を動かせる環境を整えるなど、これらの対応をとおして、単に遊具を設置するだけでなく、安全で活発な学校生活を支える環境を構築することが、学校管理者としては重要な役割になると考えております。

遊具付公園の建設についても、教育現場と同様な検討をしなければならない事案と考えております。答弁は以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 課長、ありがとうございます。引き続いて、保育所所長、課長、よろしくをお願いします。

■議長（金城信光） 福祉保健課長。

■3番 伊禮敬子議員 失礼しました。教育長、ぜひ、一言お願いできますでしょうか。

■議長（金城信光） 教育長。

■石川清一教育長 この案件に関しましては、確かにかなりになるのかなと思っていますけれども、ただ今、担当課、それから教育課長から説明があったとおりで、予算措置のために見積もり依頼を行っている。それからとらず公園を想定し、早期検討をしているというお話を伺いました。

それから教育的な観点というところからしますと、子どもたち、知・徳・体の調和のとれた子どもというところからすると、学校現場からしますと、先ほど課長からありましたとおり、ここ近年は、危ないものは撤去し、また新しいものは、というようなところで、本村の学校におきましても、定例の学校連絡協議会の中で校長、教頭が集まってよく学校での過ごし方のお話をします。それから同じく定例の教育委員会議の中でも、このような案件を話しますけれども、特に学校のほうにおいては大きな問題はなく過ごしております。

けれども全国的に、最近の子どもたちの放課後の過ごし方という、昭和の時代、それから平成、このあたりと違って、教室で過ごす子どもが多くなっている。タブレットを使ってということで、外で遊ぶことがちょっと少なくなったということは、学校現場、いろんなところから聞いております。また話は戻るんですけども、地域においての公園の遊具の取り付けについては、また繰り返しになりますけれども、早期検討しているということで、本村においてもこういった風光明媚なところで公園が早くできるといいかなと思っています。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 教育長、ありがとうございます。次に、保育所のほうからよろしくお願ひします。

■議長（金城信光） 福祉保健課長。

■新垣晃弘福祉保健課長 伊禮議員の質問にお答えします。保育所及び村内において子どもたちが遊べる遊具は少ないですが、子どもたちなりに工夫して遊んでいると思います。遊具付公園が整備された場合、遊具での外遊びを通じ、運動能力の向上やバランス感覚の発達等にも良い影響が出るのではないかと思います。ということで、保育所長からの見解をもらっています。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 課長、ありがとうございます。次に、建設予算の確保についてです。今、見積もり作成中とおっしゃっていましたが、具体策、検討状況について伺います。

■議長（金城信光） 答弁、建設課長。

■国吉善希建設課長 伊禮敬子議員のご質問にお答えいたします。建設予算の確保についての具体策、検討状況についてなんですが、前段で申し上げたとおり、ウォーキングロードや健康遊具、幼児遊具等を含んだ幅広い世代が利用できるような公園をイメージした基本計画を含んだ設計業務の見積もり依頼を行っているところです。

また、基本計画、設計におきましては、年度途中での予算確保で、どうしても履行期間を確保することが困難な状況もありますので、新規事業化で、新年度の予算確保を検討しているところでございます。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 課長、ありがとうございます。先ほど教育現場のほうからも、保育所のほうからも見解をいただきました。遊びは子どもにとって重要な意味を持っていると思うんです。先ほど、課長もおっしゃっていましたが、皆さんもご承知だと思うんですけども、体を動かすことで運動能力が高まり、リズム感、瞬発力、五感も冴えて時間の感覚、集中力、観察力、友だちと関わることで社会性が育つ、ルールを理解し協調性も生まれる。「三つ子の魂百まで」と言います。幼少期に人としての大切な基礎ができると言われていいますので、今、公園を造ることは、引きこもりがちな子どもたちを外に向けていく、ある意味、一つの人材教育ではないかと思います。私たちの老後を支えるかもしれない大切な子どもたちだと思います。そういう意味では、時代の先取りをしているのかなとも思われます。

6月定例会で、前村長のお答えが、「この案件は期間も経過しており、来年度予算確保から始めて早めに取り組みをしていきたい。村としてもしっかり取り組まないといけない」とおっしゃっております。場所の選定はもちろんですけれども、遊具選定を含め、今やれることはできるだけの努力をしていただいて、予算の確保、先ほど課長も「かなり厳しい」とおっしゃっていますけれども、予算の確保ができ次第、いつでも実施できる体制で臨んでいただきたいと思っています。財政の厳しい中、予算確保は厳しいかもしれませんが、最初から100%ではなくても、段階的に分けて、第1段階はここまで、第2段階はここまでというふうに事業を展開させながら、計画の全体像を作成していくというのも有りではないかなと思いますので。

場所については、先ほどおっしゃっていただいたとらず公園、そこが私個人的にもすごく望ましいのかなと思っています。もともとアスレチック遊具も設置されていますね。今、ちょっと破損して使えないのかなと思うんですけども、修復可能であれば、あるものを活用して、先ほど遊歩道の散策、そのへんも検討しているということでしたけれども、それが、親子で自

然散策もできるなど、また、花木の植栽、伊平屋には素晴らしいツツジがありますね。あそこは元々、自生のツバキとかもありますね。植栽するのであれば、私たちの自慢のツツジとかツバキとか、あるものを植栽して行って、それをまた観光につなげていくとか、そういった考慮も大切かなと思うんです。

将来的に、五年十年とこの公園が、例えば前からとらず岩のライトアップとかいろんなことをおっしゃっていましたが、皆さん、イルミネーションとかそういったものを設置していける公園に整備していければ、そこはまた今低迷している冬場の観光、そういったものにもつながっていきけるのではないかと思います。

それと、老朽化している施設、教育委員会等ありますね。そこも、例えば公園が、今ウェルハピですか、子育て支援の、出産後のお母さんたちを支援する事業がすぐそばで展開されていますね、駐在、保健所の。そういったところと隣接しているというのもあって、そこでまたこの複合施設で、例えば教育委員会、それから児童館とか伝統工芸とか、そういったものに結び付けていける、人材育成にもつなげていけるような複合施設とか、将来的にそこまで念頭に入れた、つながっていく開発、整備事業を、先ほど津田議員もおっしゃっていたんですけども、五年十年とつながっていく、そういう事業展開をぜひやっていただきたいと思っています。

最後に、村長にその見解を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

■議長（金城信光） 真栄田孝村長。

■真栄田孝村長 伊禮議員の質問にお答えします。この公園事業、いついつまでとはこの場では明言はできないんですが、整備には時間とお金がかかっている。3年前からの計画というか、

発案があったということを聞いています。時間がかかっている、また予算がかかるというのは、決算からしてもやはりそうだろうかと、かかるだろうかと考えています。

それでも、今回、担当課長からもありましたように、取り組みとしては一步一步進んでいると、この事業は進めていきたいというふうに考えています。私も中 2 の娘がいるんですが、今になっても「公園に行くか。」と言われたら、まあ、ないと思うんですが、幼少期なんかはやっぱり「公園があったらいいな」と考えていましたので、そこらへんは今子育て世代の皆さんも思っていることだと思いますので、この事業に関しても進めていきたいというのが、村長としての見解です。以上です。

■議長（金城信光） 伊禮議員。

■3番 伊禮敬子議員 村長、ありがとうございました。心強いお言葉をいただき、感謝いたします。財政がとても厳しい中で、本当に職員の皆さんも課長の皆さんも苦勞されているのは重々承知しておりますけども、この事業を少しでも前に進めて行ってほしいと、本当に切実に思います。どうか、皆さんの知恵を結集して、今あるものを活用して、予算削減を図りながら、ぜひ努力していただきたいと思います。以上で、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。